

スーパーシティのデータモデルに関する論点

データ項目

- スーパーシティのサービスを考えた場合、現在のデータ項目で十分か？
 - 現在の項目は地図をベースに検討
 - 海外の事例などからセンサーを付加
 - 住民情報等の行政情報は対象としていない
 - 電線、高圧線のような、ドローン飛行に必要な情報は情報の取得可能性が低いので除外
 - 地下街や建物内はどこまで対象にするか
 - 移動体のデータモデルを対象にするか
 - 街灯、天気、廃棄物等、海外で整備済みのデータをどうするか
 - 都市部以外の追加項目はあるのか

外国語情報

- 国交省、観光庁と東京都の表記ガイド参照でよいか？ (Edogawa Bridge?)
- 英語中心でよいか

地図データ

- 地図は目的によってさまざまな形式があるがどこまで記述するのか？

データモデルの記述内容

- データは、形式、モデル、コードの3点セットでよいか？
- クラス図まで記述するか？

緯度経度

- 緯度経度は精度 1 m位の小数点以下 6 桁でよいか？
 - 7 桁制度にすると測定が大変になる (東北では 10 年間に 2 m 移動している)
 - リアルタイム測地点による補正も通常のサービスでは不要
- 緯度経度の時点記載は不要でよいか？

道路

- どこまで記述するか？ DRM (Digital Road Map) をどう考えるか。

コード

- 整備されていないコードはどうするのか？
- ベストエフォートで収集できる既存コードの列挙でよいか？

以上